

令和3年度 市町村発達障害児(者)支援体制 整備状況に関する実態調査

結果概要 (一次報告)

留意事項:

R4.1月時点における編集作業中のデータになるため、
今後、報告書完成の過程で変更が生じる可能性があります。

調査概要

- 目的: 市町村の支援体制の整備状況および現状の社会資源等に関する課題を把握することにより、今後の市町村等の支援体制整備の促進及び当センター運営事業の推進を図ること
- 期間: 令和3年10月15日～11月15日
- 方法: 自記式調査票調査
- 対象: 県内41市町村 123関係各課 ※
(※ 母子保健主管課・保育主管課/
障害福祉主管課／教育委員会)
- 回収数: 41市町村 120課 (回収率97.6%)

調査結果

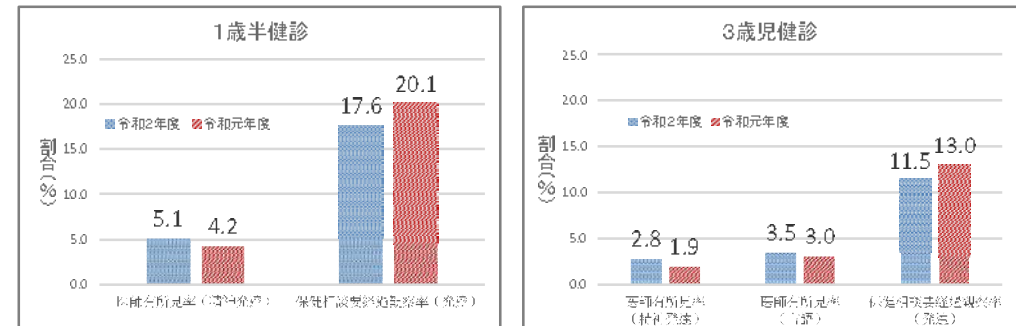
【 保健／保育領域 】

平成26年度、平成29年度調査との
比較を中心に(一部抜粋)

※ 新型コロナの影響も勘案し、一部
令和元年度と令和2年度データあり

I. 乳幼児健康診査について

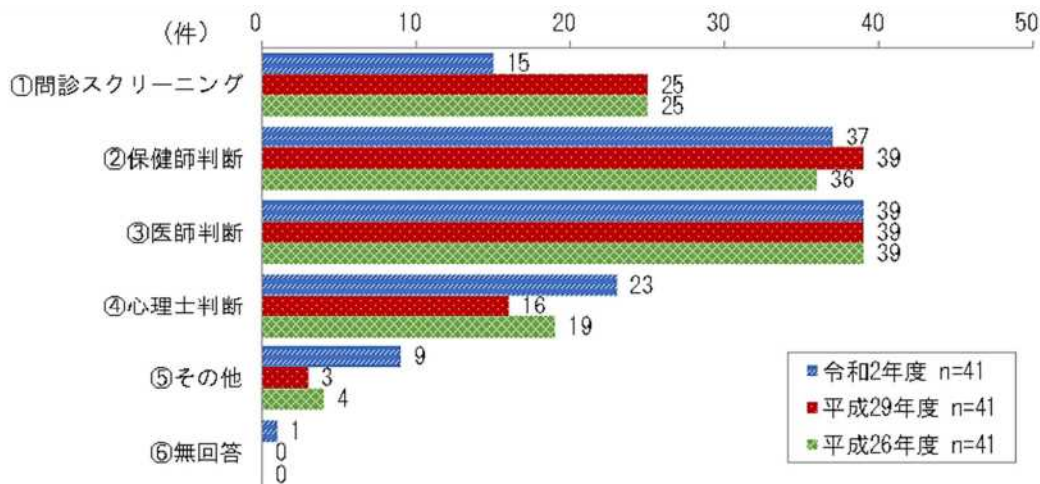
● 乳幼児健診における要フォロー率について



		令和2年度	令和元年度			平成29年度	平成26年度
1歳6か月健診	有所見率(精神発達)	5.1(9.5)	4.2(5.7)	フォロー率		18.1	20.3
	保健要相談経過観察率(発達)	17.6(15.4)	20.1(14.8)	フォロー率幅		2.7-49.7	1.8-65
3歳児健診	有所見率(精神発達)	2.8(3.5)	1.9(1.9)	フォロー率		11.2	15.4
	有所見率(言語)	3.5(3.8)	3.0(3.0)	フォロー率幅		0.9-33.9	2.1-85
	保健要相談経過観察率(発達)	11.5(10.0)	13.0(10.7)			単位は%、()内は標準偏差	

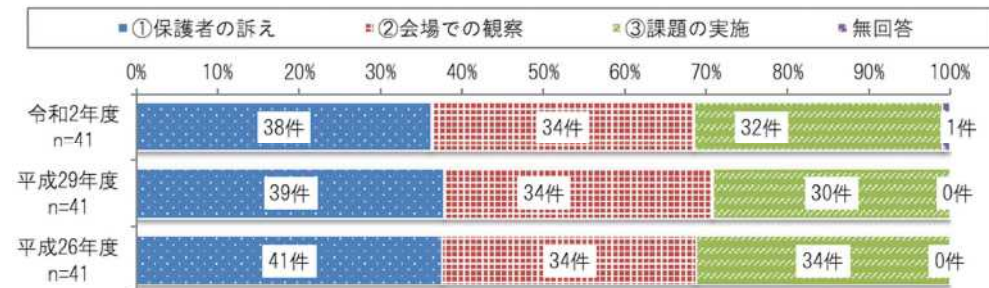
I. 乳幼児健康診査について

● 要フォローの判断基準



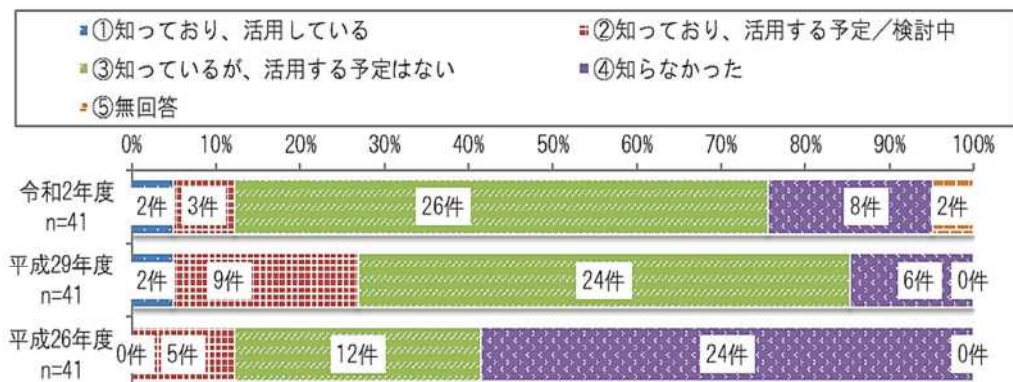
I. 乳幼児健康診査について

● 各健診において保健師が要フォローと判断する基準



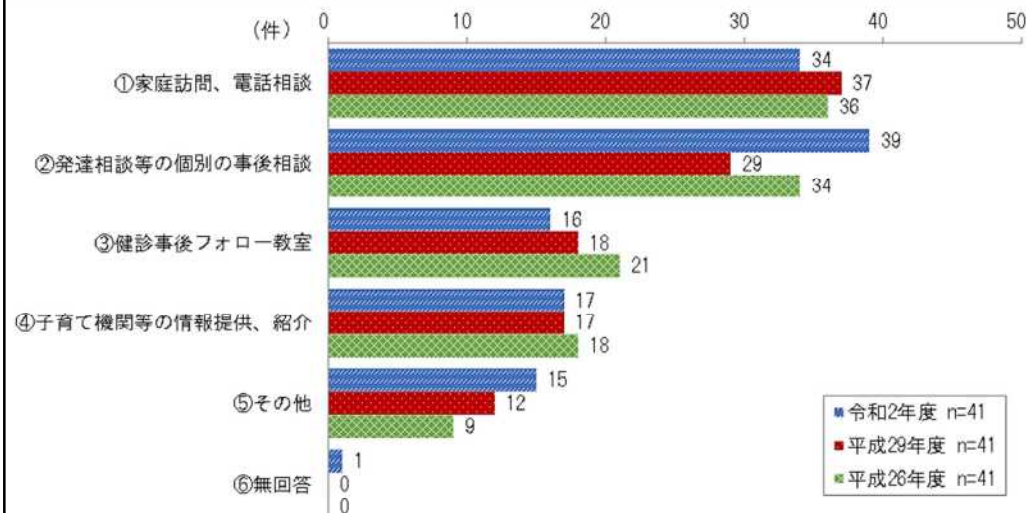
I. 乳幼児健康診査について

● 発達障害のアセスメントツール(M-CHAT・PARS)の認知度・健診での活用状況



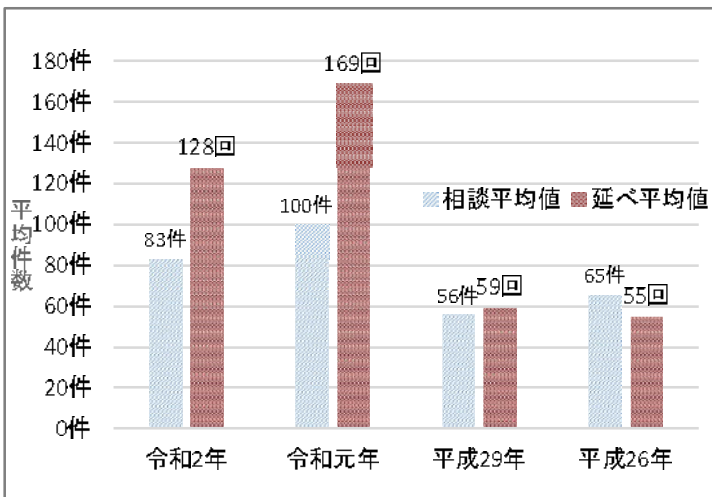
I. 乳幼児健康診査について

● 乳幼児健診後のフォロー内容について



I. 乳幼児健康診査について

● 発達相談について

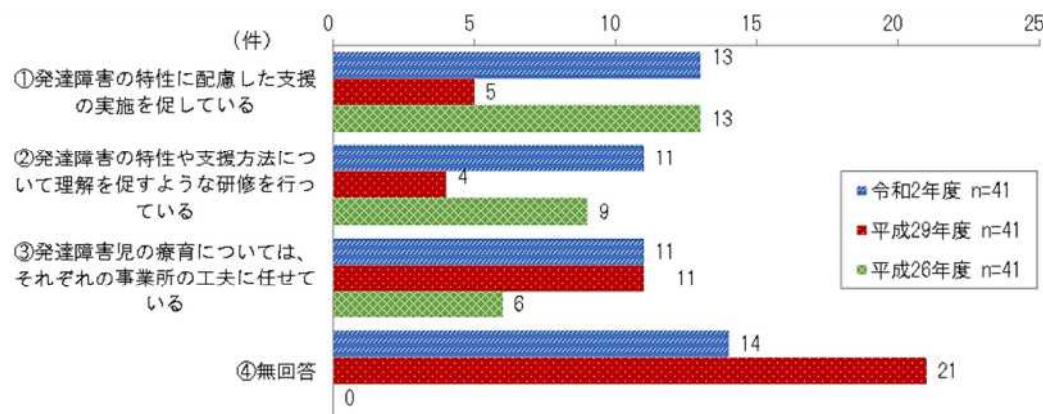


担当職種	R2	R元
医師	2	0
小児科医	1	0
保健師	5	4
臨床心理士	18	19
臨床発達心理士	1	2
公認心理師	4	3
言語聴覚士	6	4
無回答	3	4

- 発達相談の件数は前回調査より増加している
- 発達相談の多くを心理職が行っている。

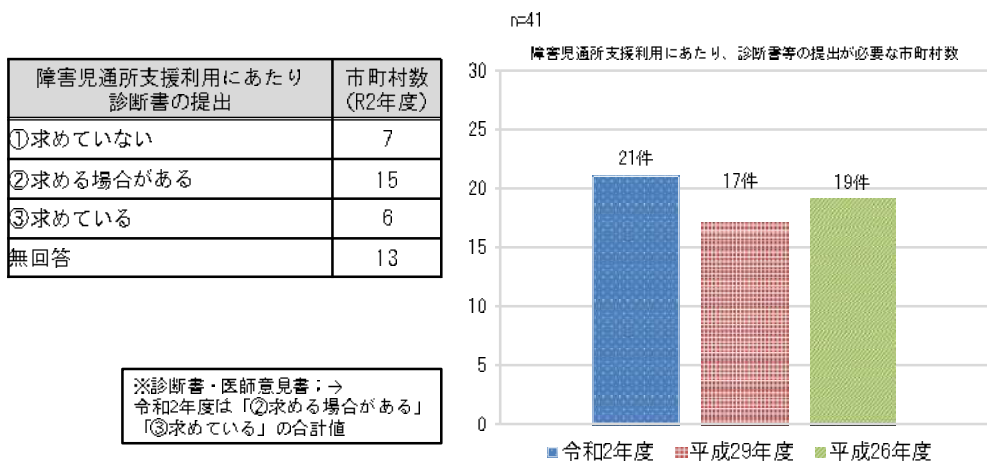
II. 療育の状況について

● 発達障害児の療育にあたり、自治体で取り組んでいること (複数回答)



II. 療育の状況について

● 児童福祉法による障害児通所支援利用にあたり、医師からの診断書(意見書)の提出について

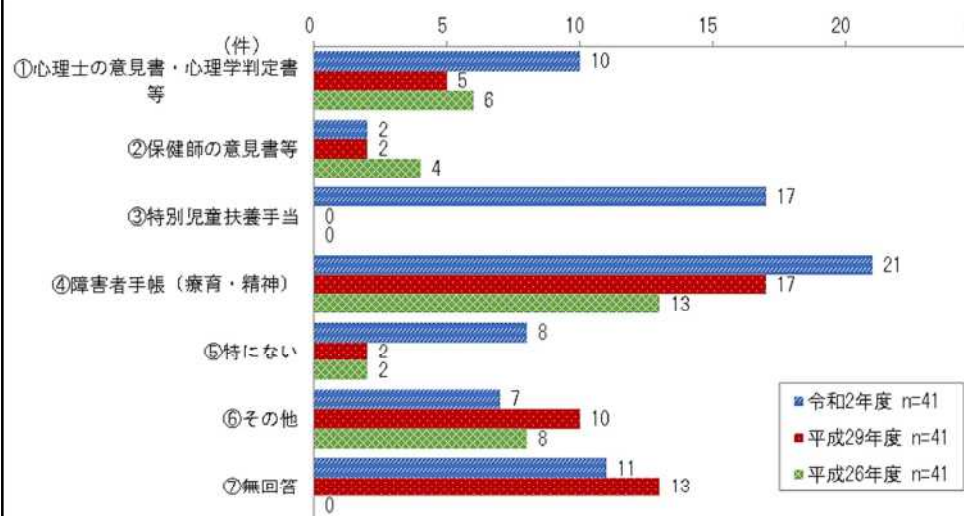


障害児通所支援利用にあたり診断書の提出	市町村数 (R2年度)
①求めていない	7
②求める場合がある	15
③求めている	6
無回答	13

※診断書・医師意見書：→
令和2年度は「②求める場合がある」「③求めている」の合計値

II. 療育の状況について

● 児童福祉法による障害児通所支援利用にあたり、診断書以外で提出を求めている書類等について (複数回答)

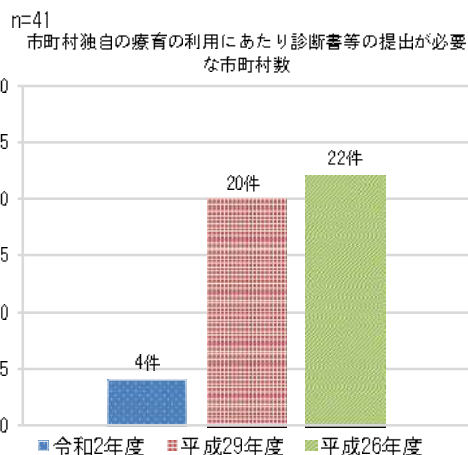


Ⅱ. 療育の状況について

- 市町村独自の療育(児童福祉法による障害児通所支援除く)の利用にあたり、医師からの診断書(意見書)の提出について

市町村独自の療育の利用にあたり 診断書の提出	市町村数 (R2年度)
①求めていない	4
②求める場合がある	3
③求めている	1
④実施していない	21
無回答	12

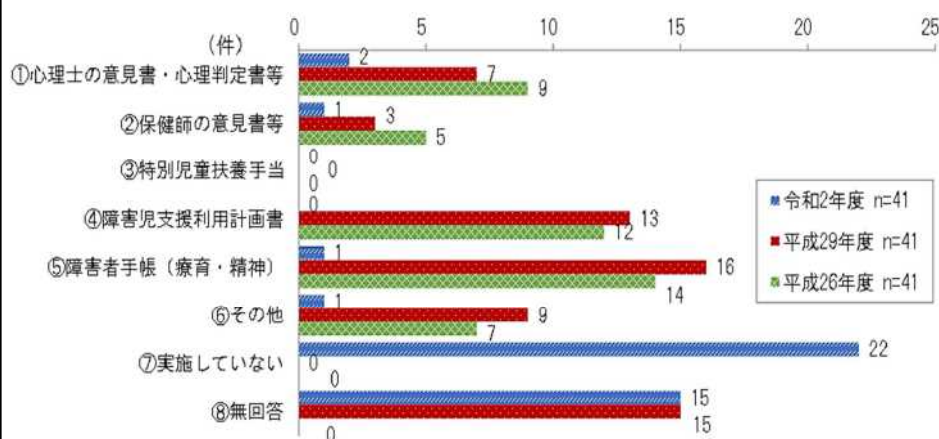
※診断書・医師意見書：→
令和2年度は「②求める場合がある」
「③求めている」の合計値



13

Ⅱ. 療育の状況について

- 市町村独自の療育(児童福祉法による障害児通所支援除く)の利用にあたり、診断書以外で提出を求めている書類等について (複数回答)



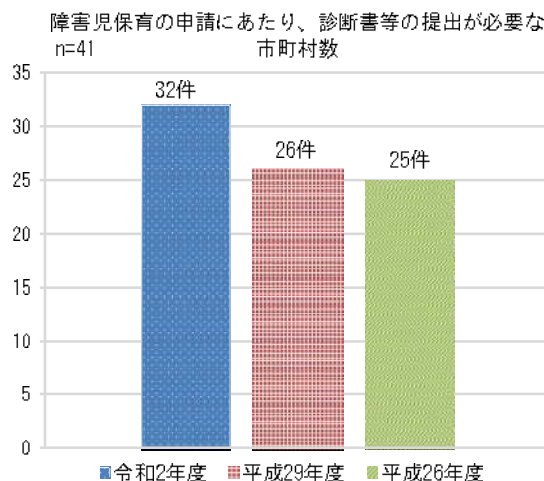
14

Ⅲ. 保育の状況について

- 障害児保育の申請にあたり、医師からの診断書等の提出について

障害児保育の申請にあたり 診断書の提出	市町村数 (R2年度)
①求めていない	4
②求める場合がある	14
③求めている	18
無回答	5

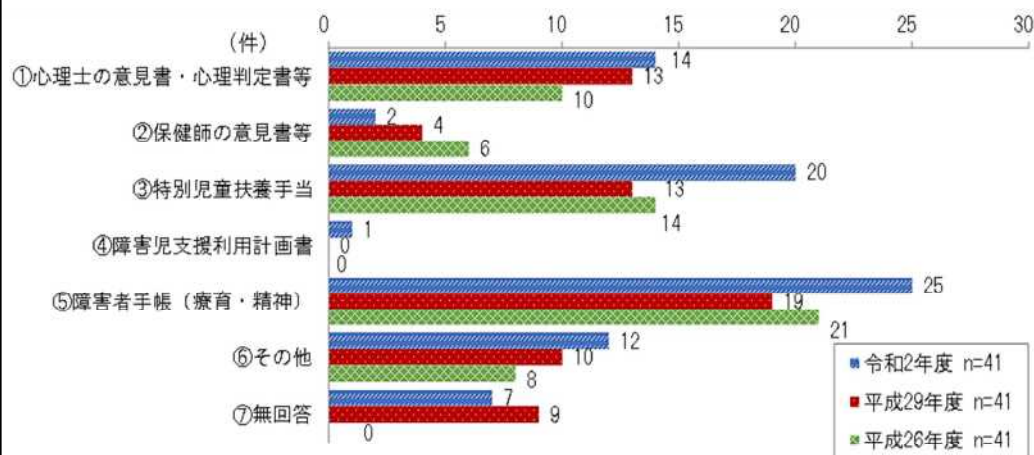
※診断書・医師意見書：→
令和2年度は「②求める場合がある」
「③求めている」の合計値



15

Ⅲ. 保育の状況について

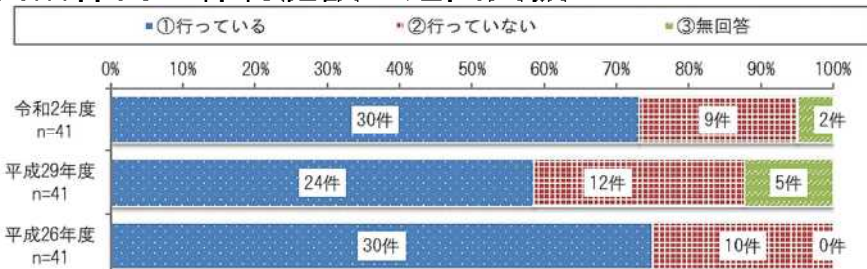
- 障害児保育の申請にあたり、診断書以外で提出を求めている書類等について (複数回答)



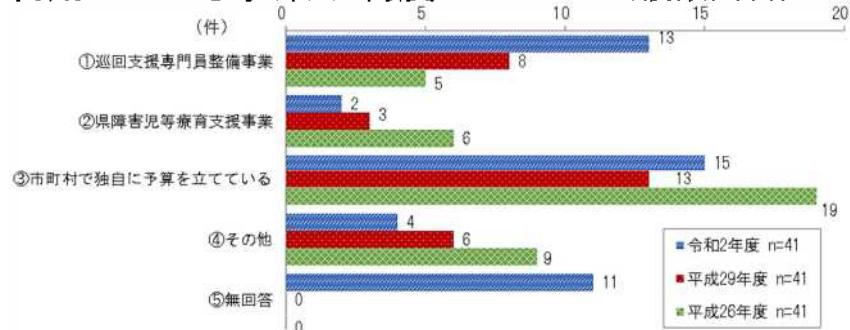
16

Ⅲ. 保育の状況について

● 自治体内の保育施設へ巡回支援について

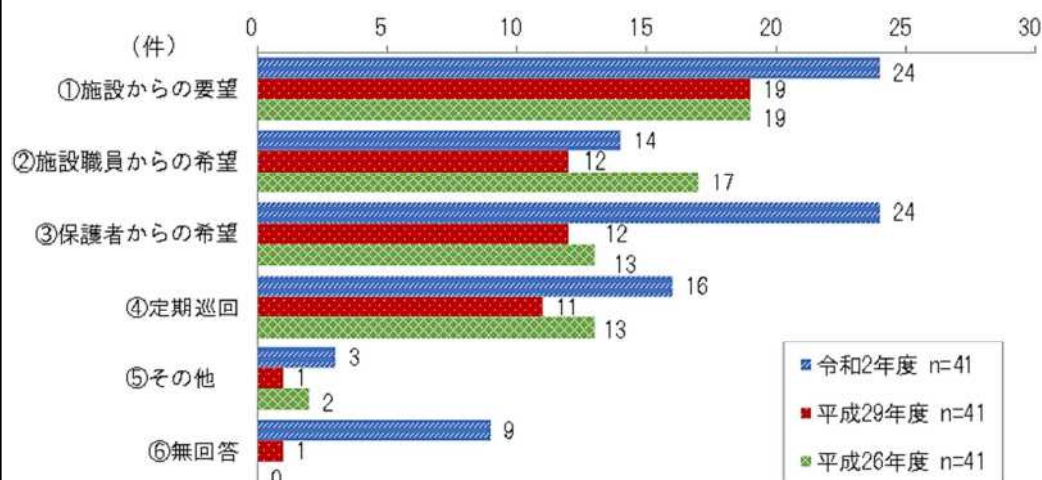


● 利用している事業や制度について (複数回答)



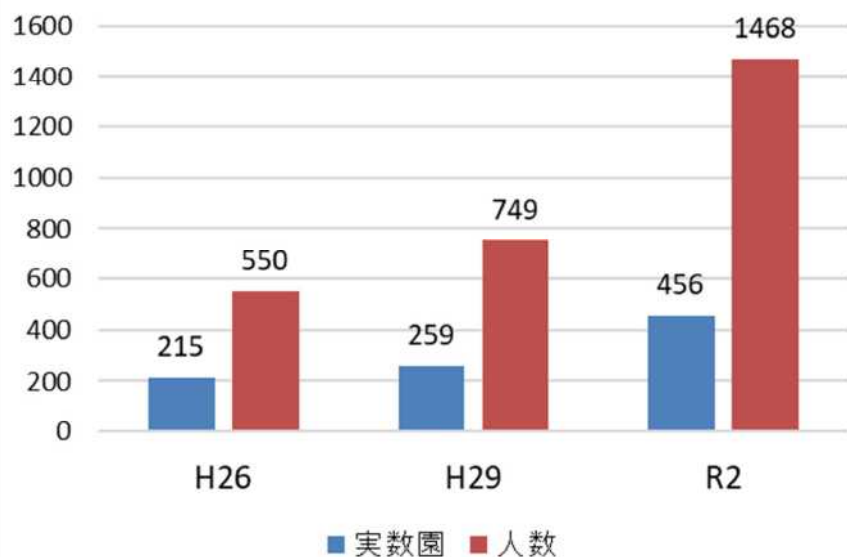
Ⅲ. 保育の状況について

● 自治体内の保育施設へ巡回支援について必要な手続き (複数回答)



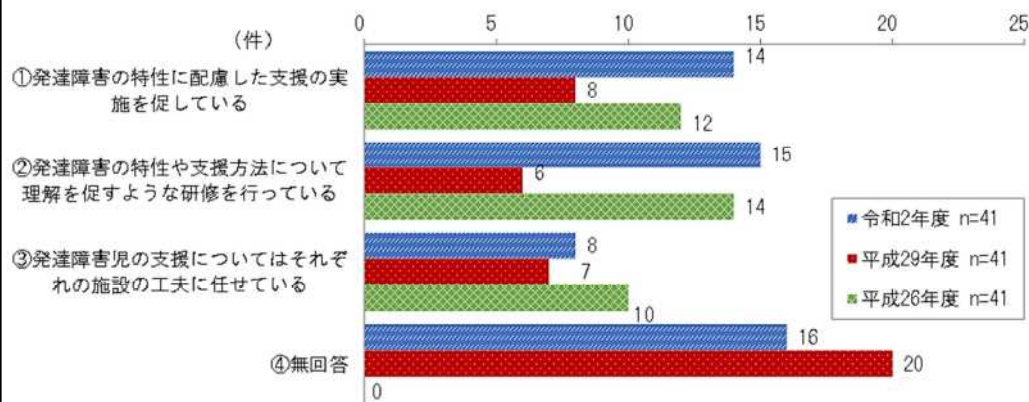
Ⅲ. 保育の状況について

障害児保育実施園数・人数



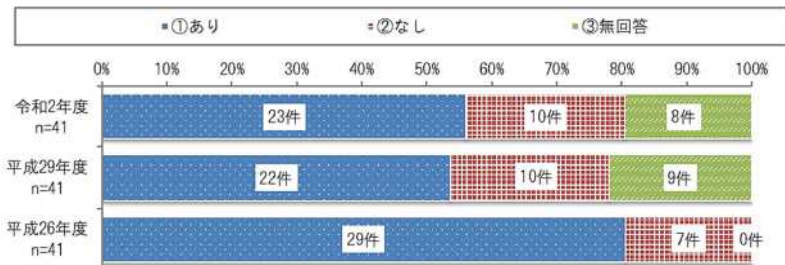
Ⅲ. 保育の状況について

● 障がい児保育の実施にあたって、自治体で取り組んでいること (複数回答)

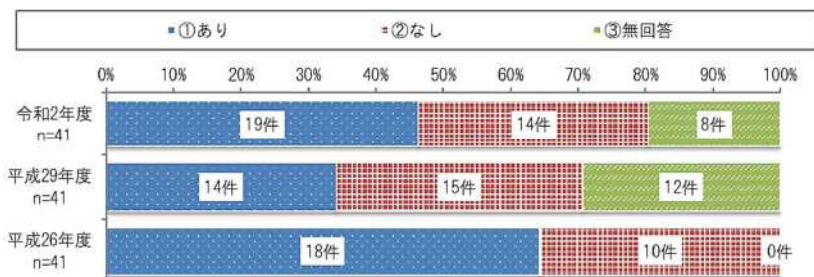


Ⅲ. 保育の状況について

● 気になる子がいた場合に紹介できる支援機関について

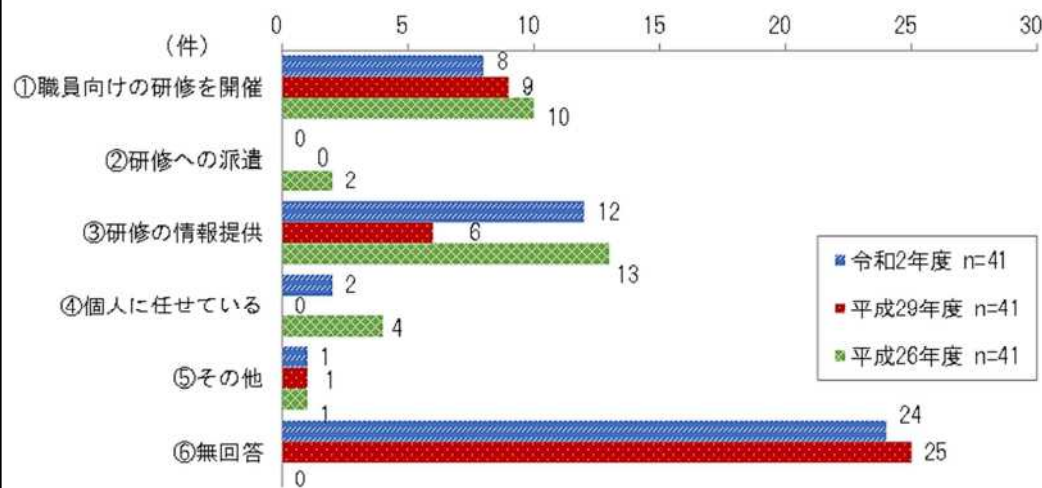


● 気になる子や保護者のフォローの場としての子育て支援センター利用



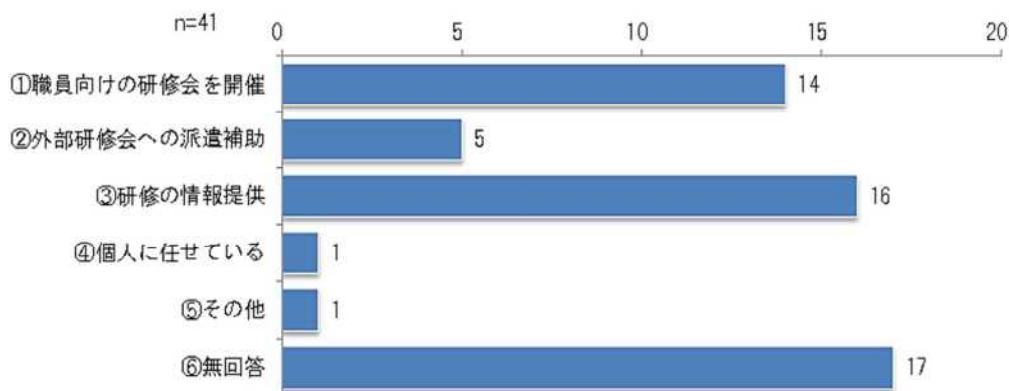
Ⅲ. 保育の状況について

● 認可外保育施設の職員に対する研修機会(オンライン含む)の確保に向けた取組み (複数回答)



Ⅲ. 保育の状況について

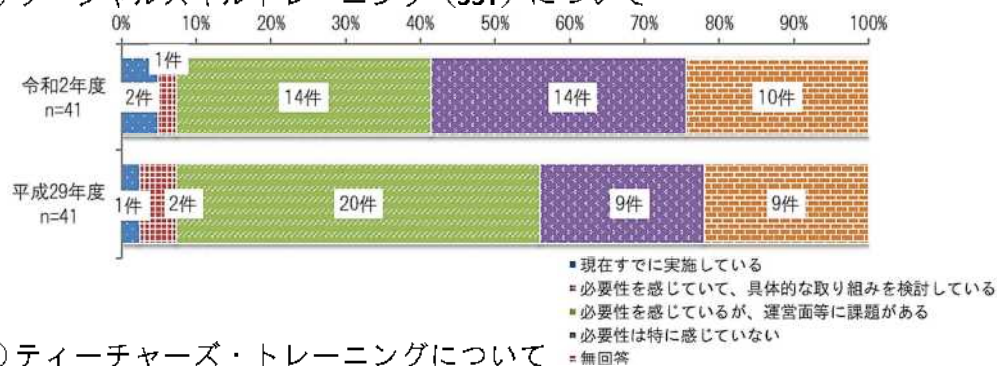
● 学童保育施設の職員に対する研修機会(オンライン含む)の確保に向けた取組み (複数回答)



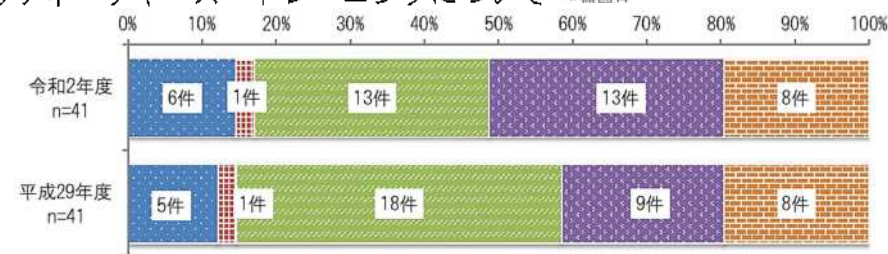
V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(1) 市町村における取り組み状況 (保健・福祉分野)

① ソーシャルスキルトレーニング (SST) について



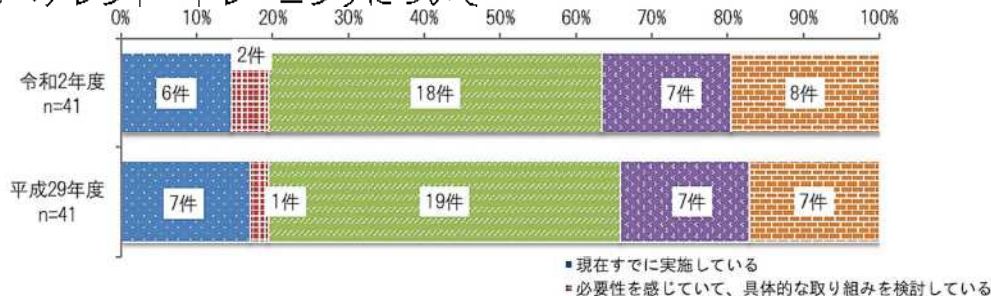
② ティーチャーズ・トレーニングについて



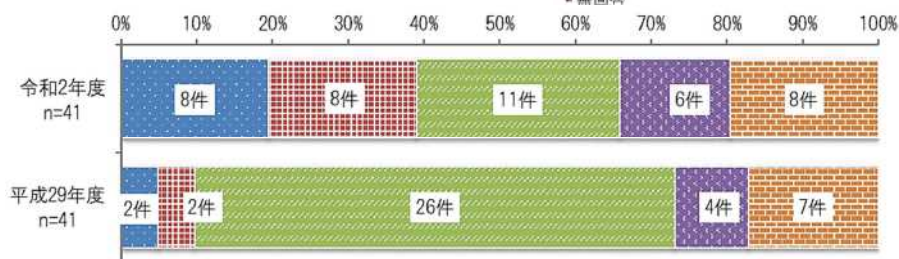
V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(1) 市町村における取り組み状況 (保健・福祉分野)

③ ペアレント・トレーニングについて



④ ペアレントプログラムについて

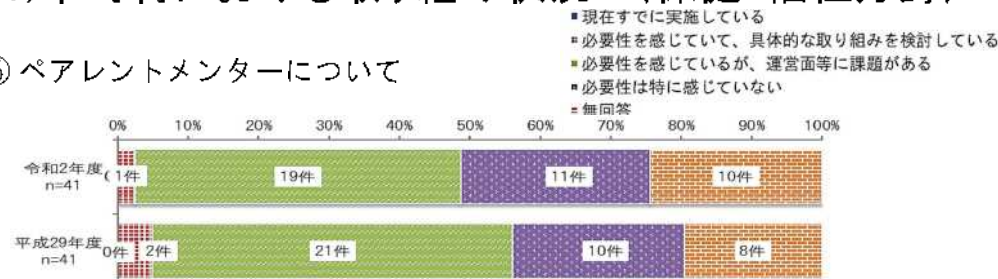


25

V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

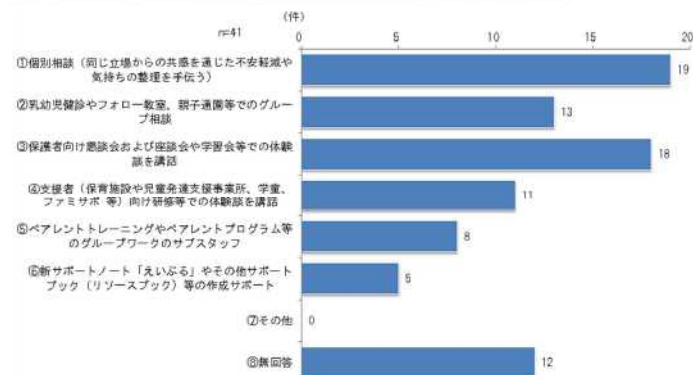
(1) 市町村における取り組み状況 (保健・福祉分野)

⑤ ペアレントメンターについて



⑤-1

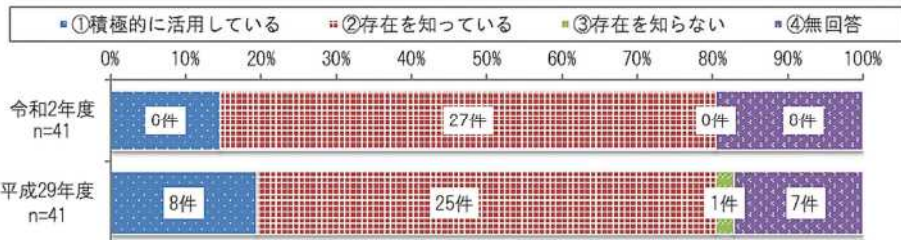
ペアレントメンターがいたら、どのような役割を担って欲しいですか？ (複数回答可)



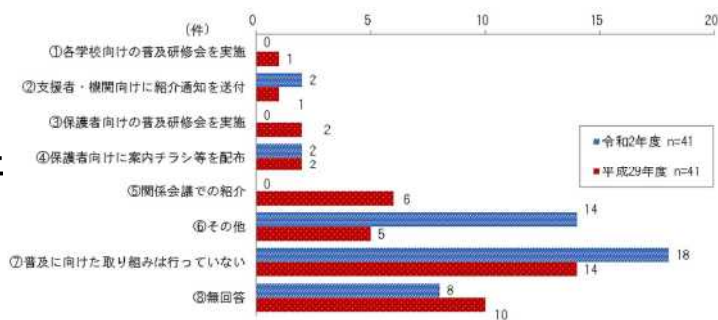
26

V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(2) 「新サポートノートえいぶる」について (保健・福祉分野)



(2)-1 普及に向けた取り組み



27

調査結果

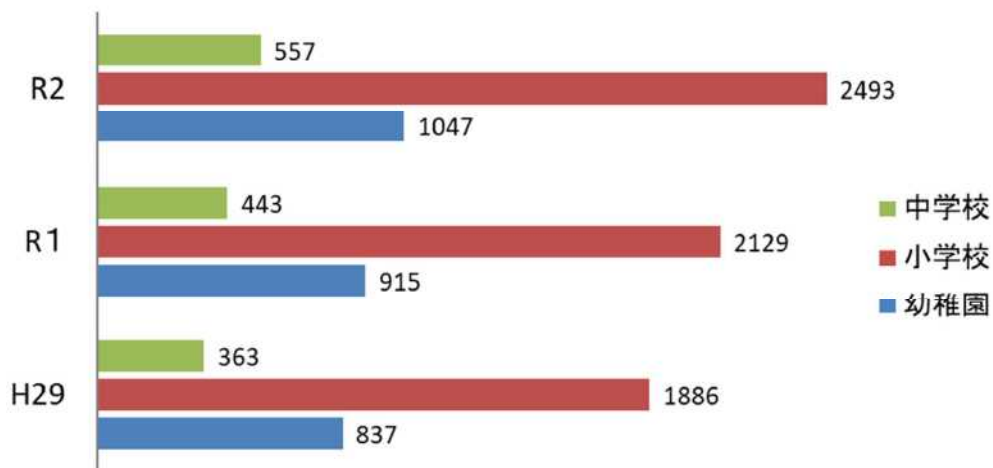
【 教育領域 】

平成26年度、平成29年度調査との比較を中心に(一部抜粋)

※ 新型コロナウイルスの影響も勘案し、一部令和元年度と令和2年度データあり

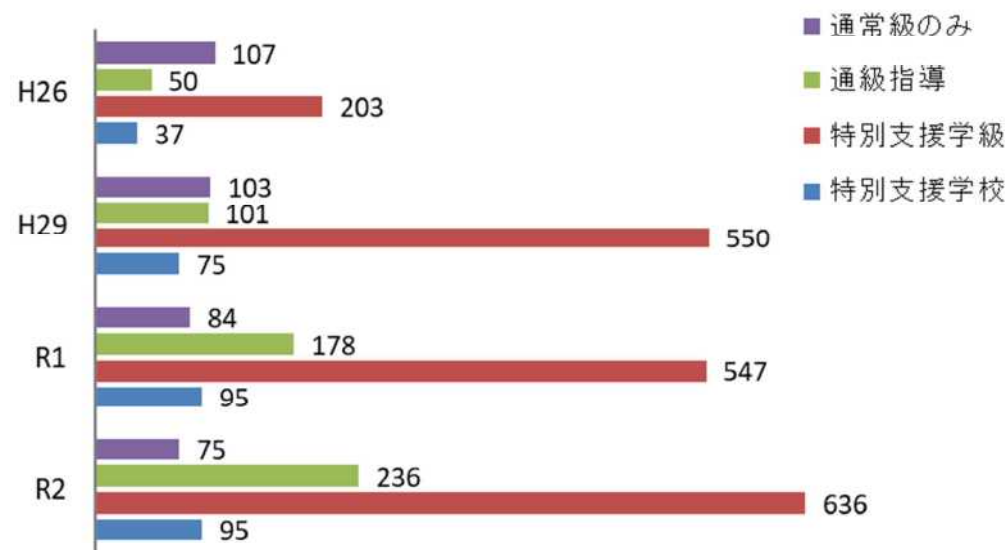
就学相談(就学支援)の実施状況について

就学支援実施児童数 総数



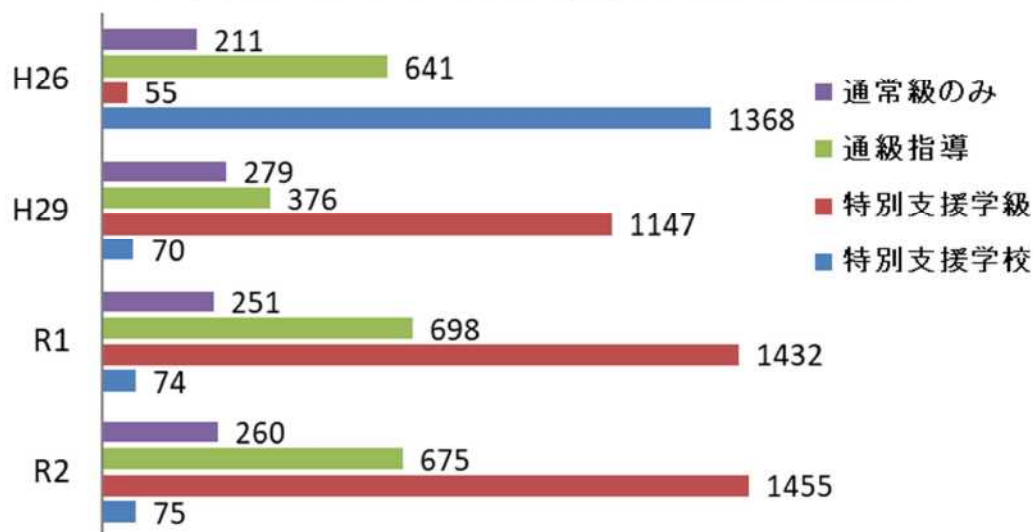
I. 幼稚園について

幼稚園における教育支援委員会後の進路



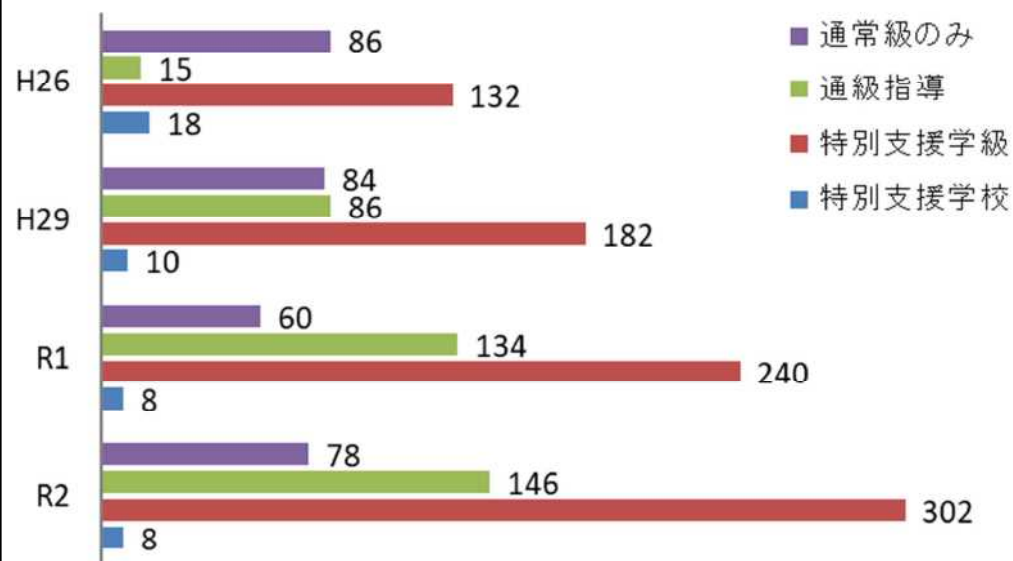
II. 小学校について

小学校における教育支援委員会後の進路



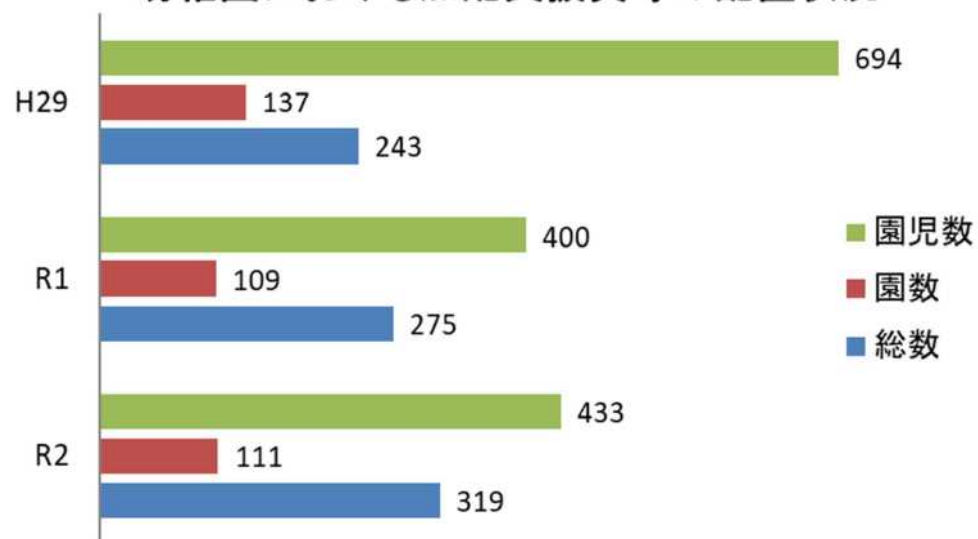
III. 中学校について

中学校における教育支援委員会後の進路



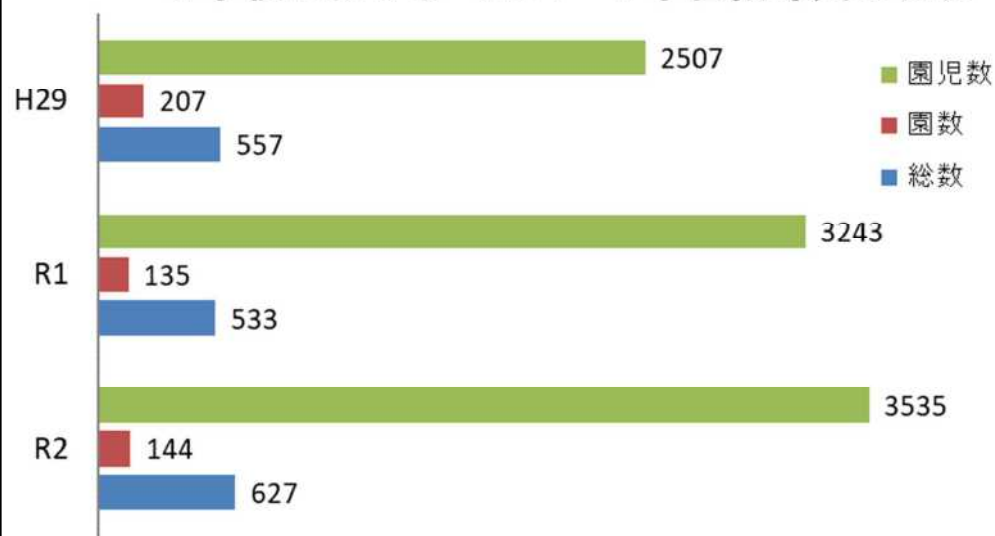
I. 幼稚園について

幼稚園における加配支援員等の配置状況



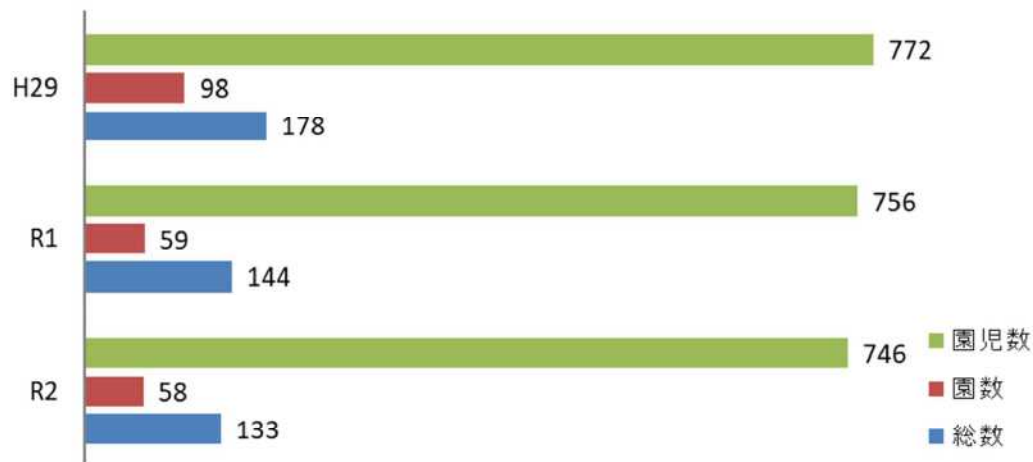
II. 小学校について

小学校におけるヘルパーや学習指導員の状況



III. 中学校について

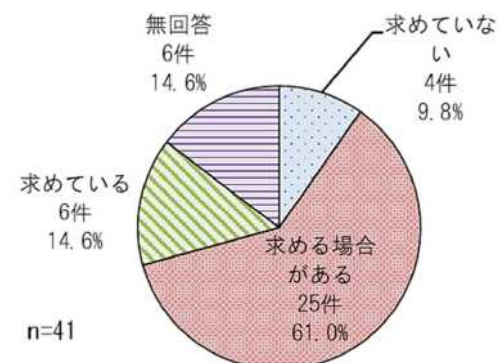
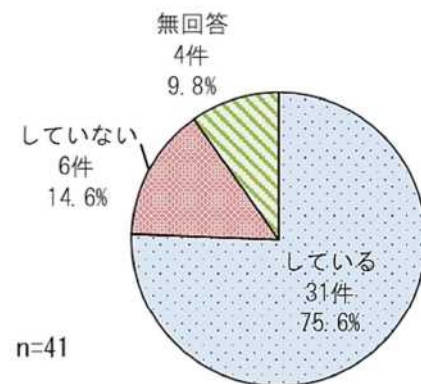
中学校におけるヘルパーや学習支援員の状況



I. 幼稚園について (R2年度)

● 幼稚園における就学相談 (就学指導) の実施状況

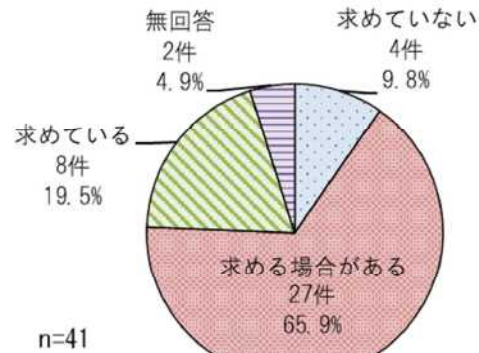
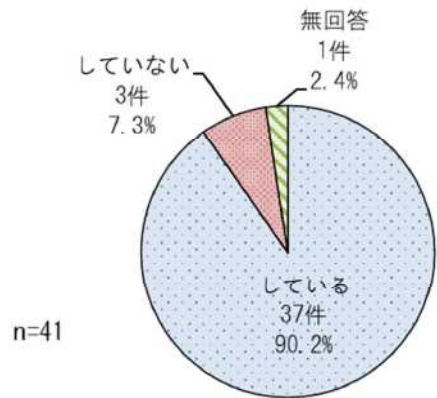
● 教育支援委員会等への 医師からの診断書の提出について



Ⅱ. 小学校について (R2年度)

● 小学校における就学相談 (就学指導) の実施状況

● 教育支援委員会等への 医師からの診断書の提出について

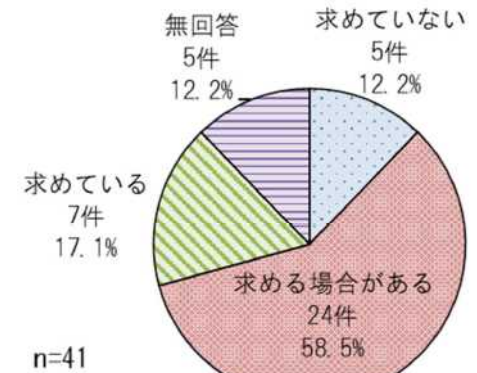
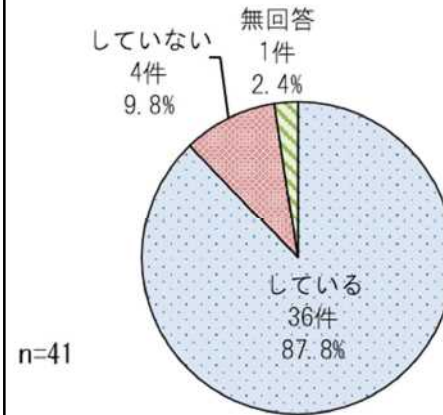


37

Ⅲ. 中学校について (R2年度)

● 中学校における就学相談 (就学指導) の実施状況

● 教育支援委員会等への 医師からの診断書の提出について

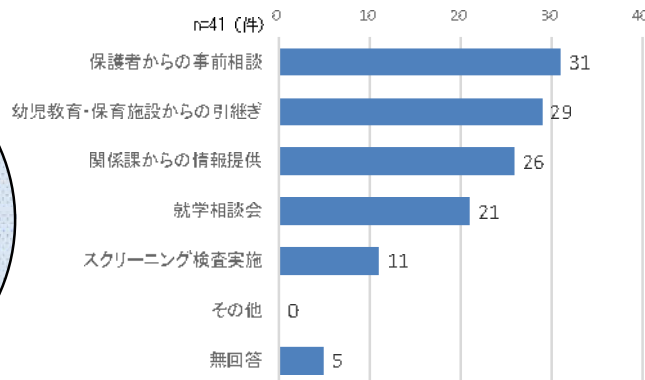
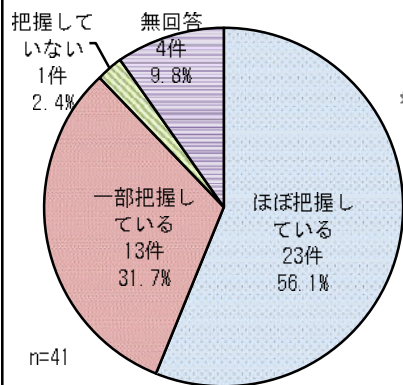


38

Ⅰ. 幼稚園について (R2年度)

● 幼稚園入園時の 発達障害児の把握について

● 幼稚園入園時の発達障害児について把握している場合、その方法について (複数回答)

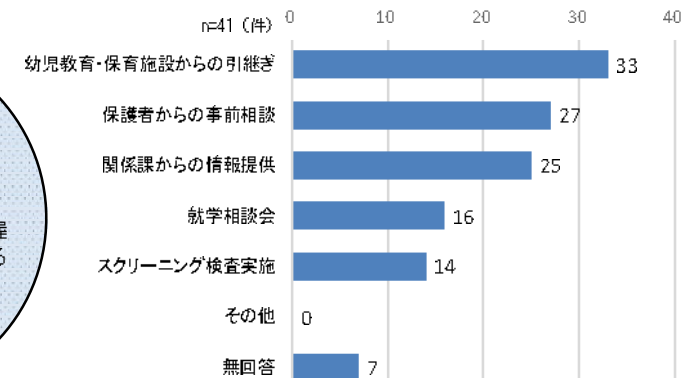
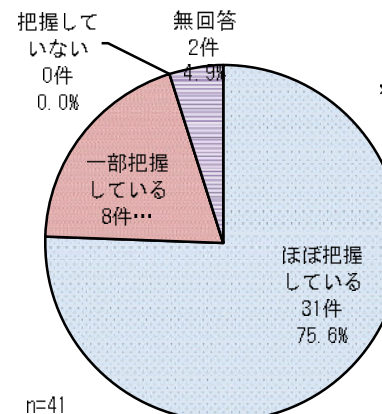


39

Ⅱ. 小学校について (R2年度)

● 小学校入学時の 発達障害児の把握について

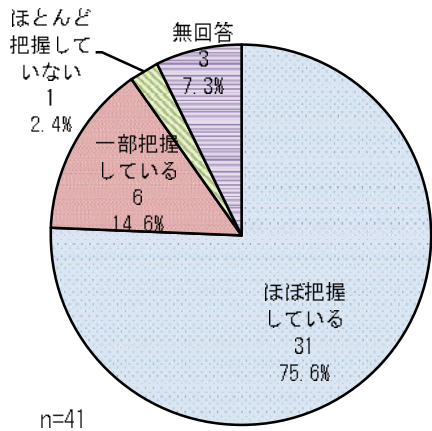
● 小学校入学時の発達障害児について把握している場合、その方法について (複数回答)



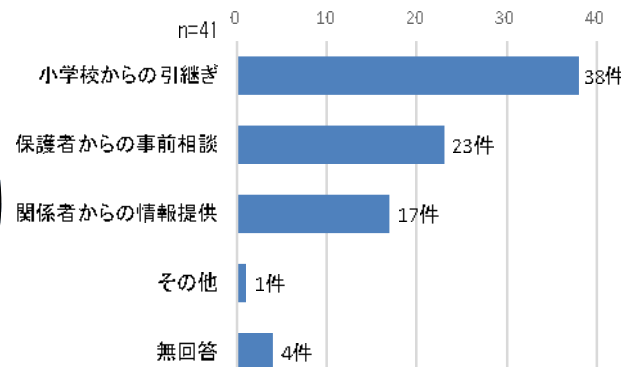
40

Ⅲ. 中学校について(R2年度)

● 中学校入学時の発達障害児の把握について

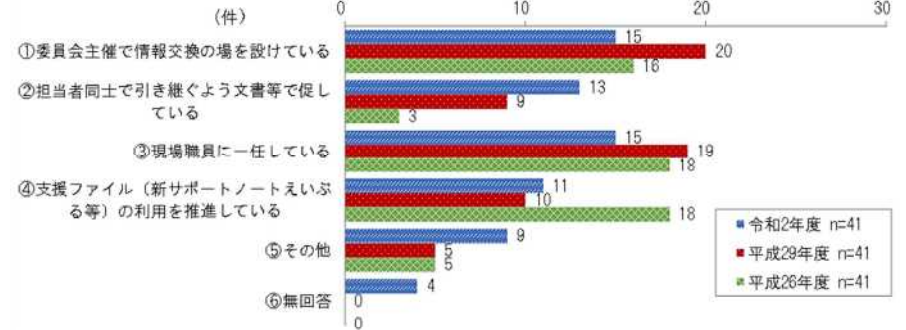


● 中学校入学時の発達障害児について把握している場合、その方法について (複数回答)

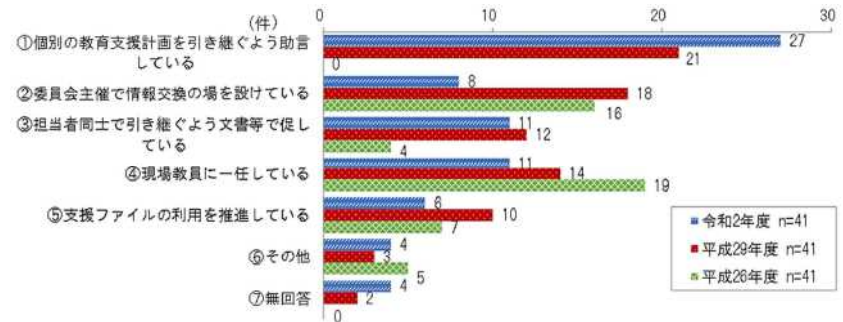


41

● 幼稚園から小学校への引継ぎについて (複数回答)

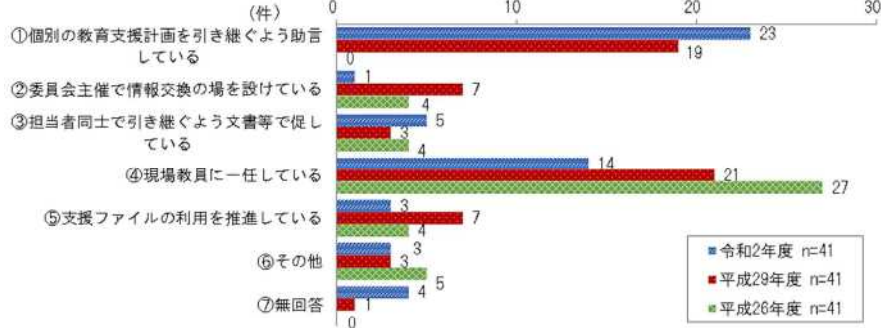


● 小学校から中学校への引き継ぎについて (複数回答)

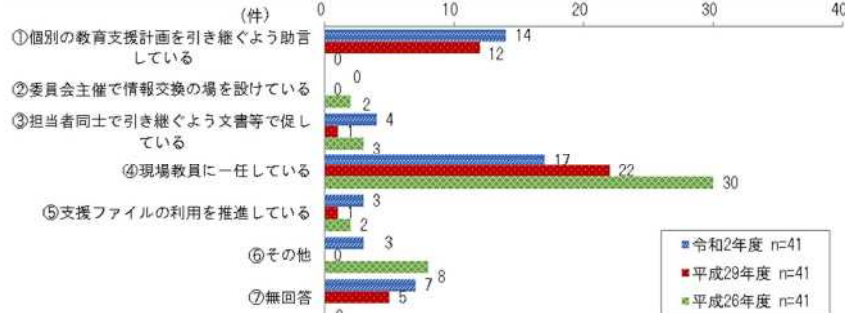


42

● 高等学校への引継ぎについて (複数回答)

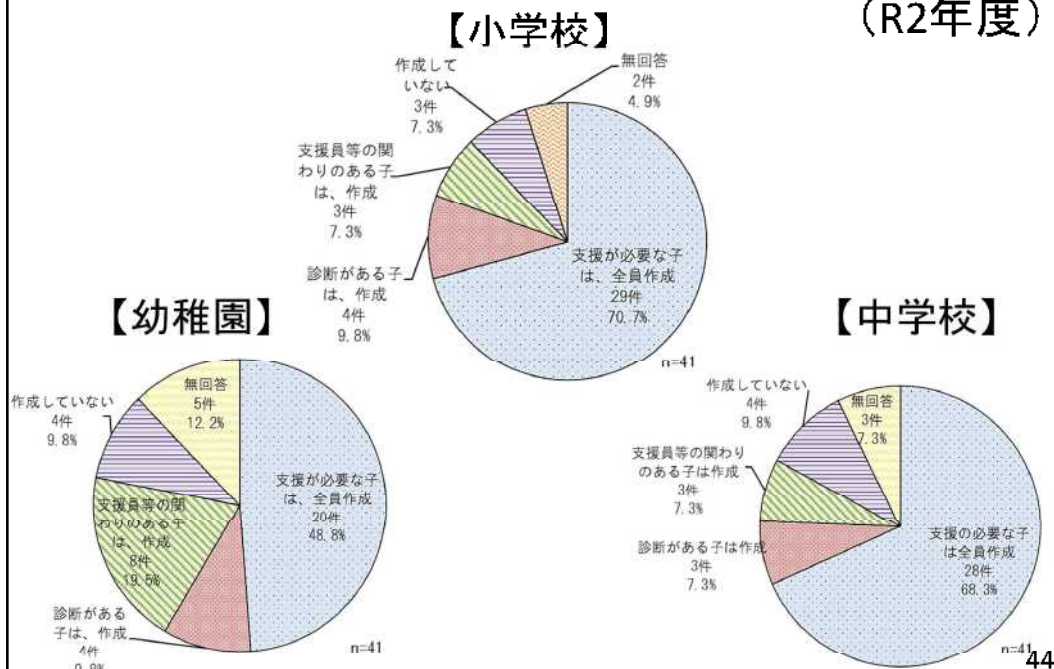


● 卒後、相談機関(就労支援も含む)への引継ぎについて (複数回答)



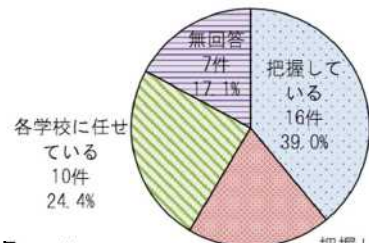
43

● 個別の教育支援計画および指導計画の作成について (R2年度)

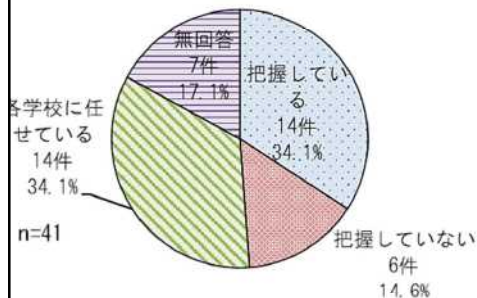


● 発達障害または発達障害が疑われる
不登校の児童について (R2年度)

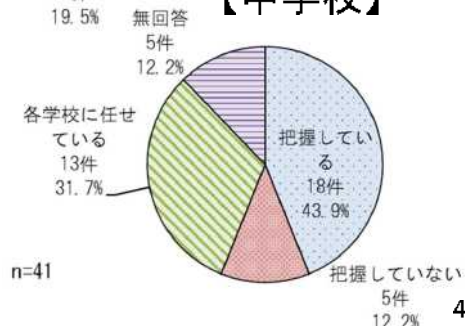
【小学校】



【幼稚園】 n=41



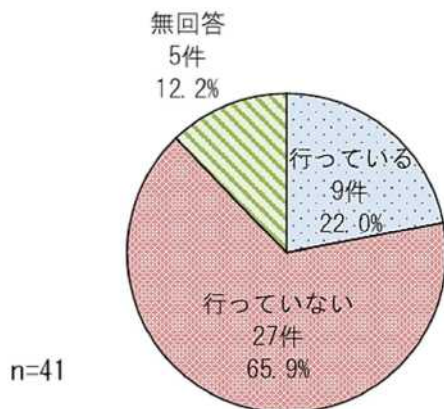
【中学校】



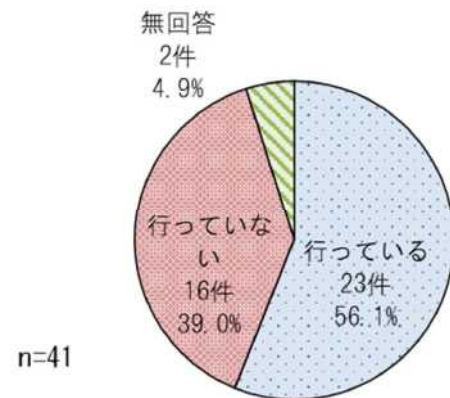
その他 (R2年度)

- 公立学校以外(インターナショナルスクール、フリースクール等)へ通学している場合の把握および支援

- 特別支援教育に関する説明会等について



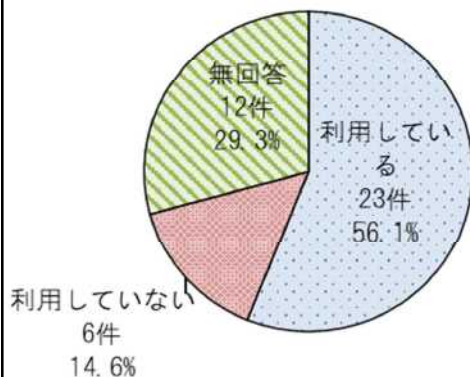
n=41



n=41

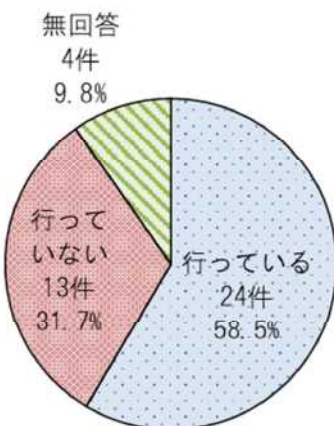
その他 (R2年度)

- インクルーシブ教育システム学校支援事業(専門家チーム・巡回アドバイザー)利用について



n=41

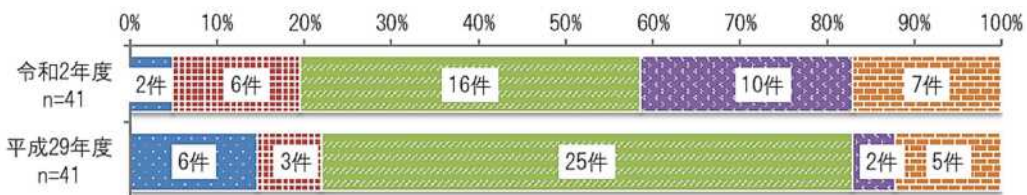
- 市町村独自の巡回支援について



V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(1) 市町村における取り組み状況 (教育分野)

① ソーシャルスキルトレーニング (SST) について



- 現在すでに実施している
- 必要性を感じていて、具体的な取り組みを検討している
- 必要性を感じているが、運営面等に課題がある
- 必要性は特に感じていない
- 無回答

② ティーチャーズ・トレーニングについて



V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(1) 市町村における取り組み状況 (教育分野)

③ ペアレント・トレーニングについて



④ ペアレントプログラムについて

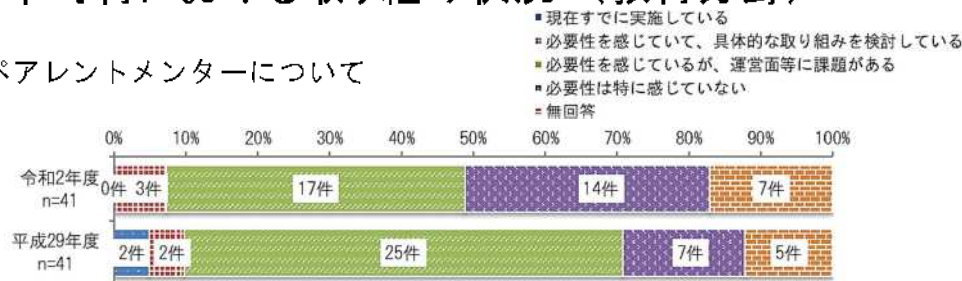


49

V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

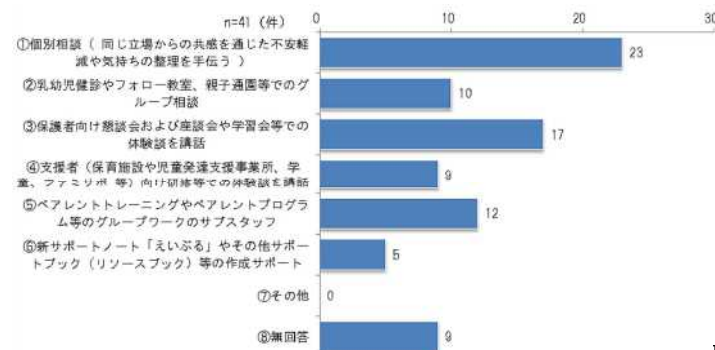
(1) 市町村における取り組み状況 (教育分野)

⑤ ペアレントメンターについて



⑤-1

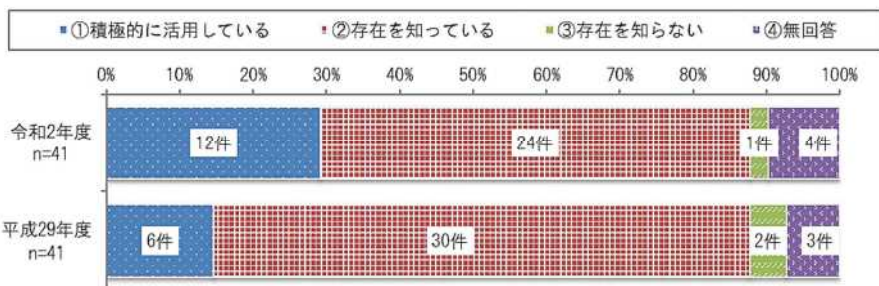
ペアレントメンターがいたら、どのような役割を担って欲しいですか？ (複数回答可)



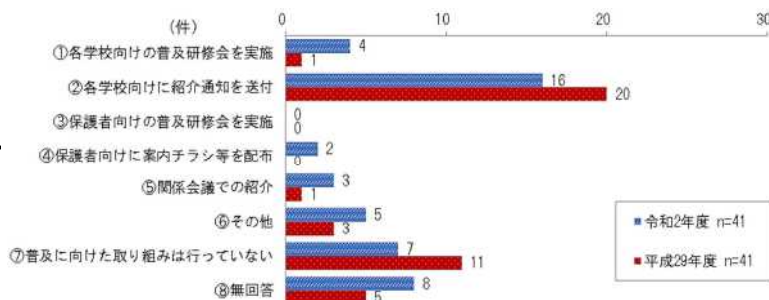
50

V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(2) 「新サポートノートえいぶる」について (教育分野)



(2)-1 普及に向けた取り組み



1

調査結果

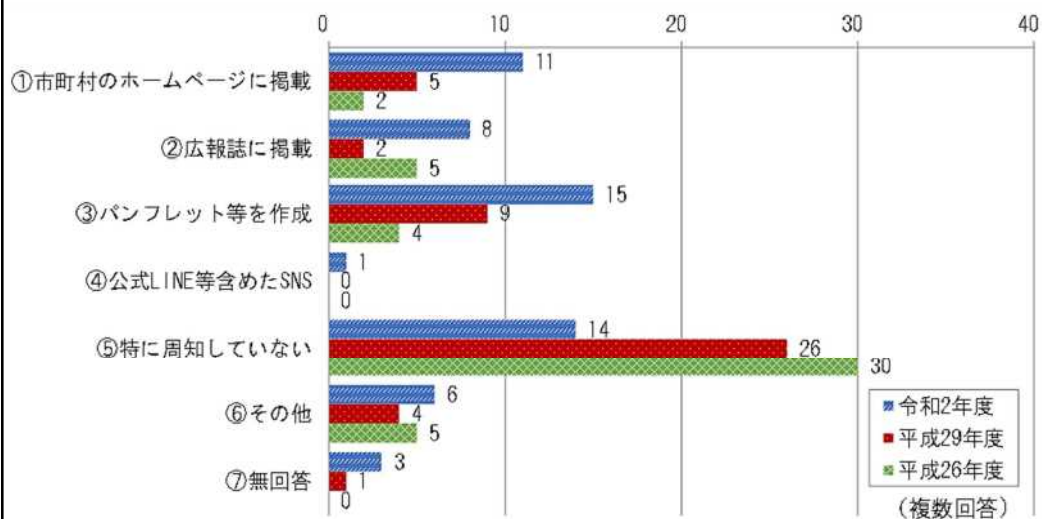
【 福祉領域 】

平成26年度、平成29年度調査との比較を中心に(一部抜粋)

※ 新型コロナの影響も勘案し、一部令和元年度と令和2年度データあり

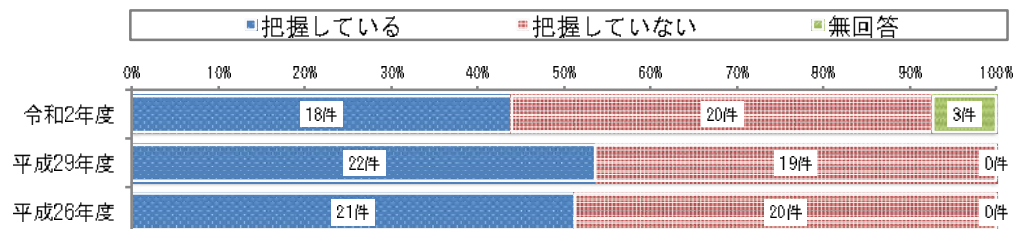
I. 発達障害に関する全般的な相談状況について

(1) 地域住民への発達障害に関する相談窓口の周知状況

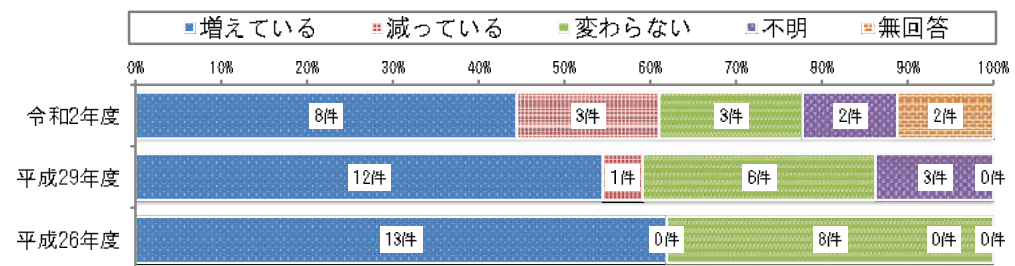


I. 発達障害に関する全般的な相談状況について

(2) 発達障害に関する相談件数や支援ニーズ

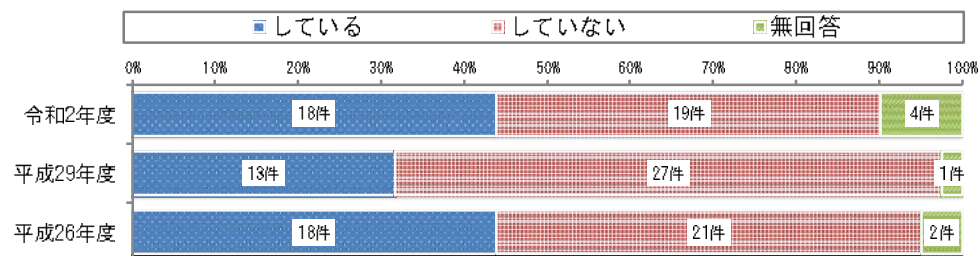


(3) 発達障害に関する全般的な相談件数について

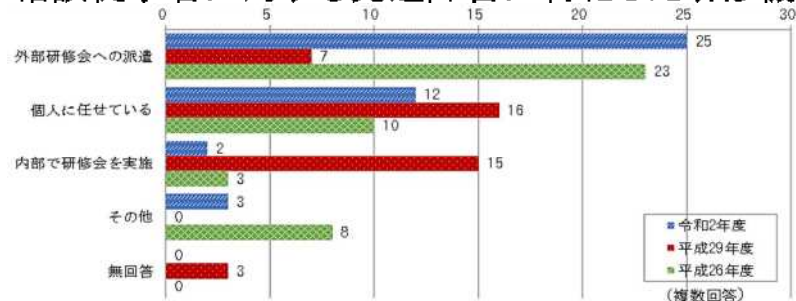


I. 発達障害に関する全般的な相談状況について

(4) 発達障害の相談対応における具体的な工夫

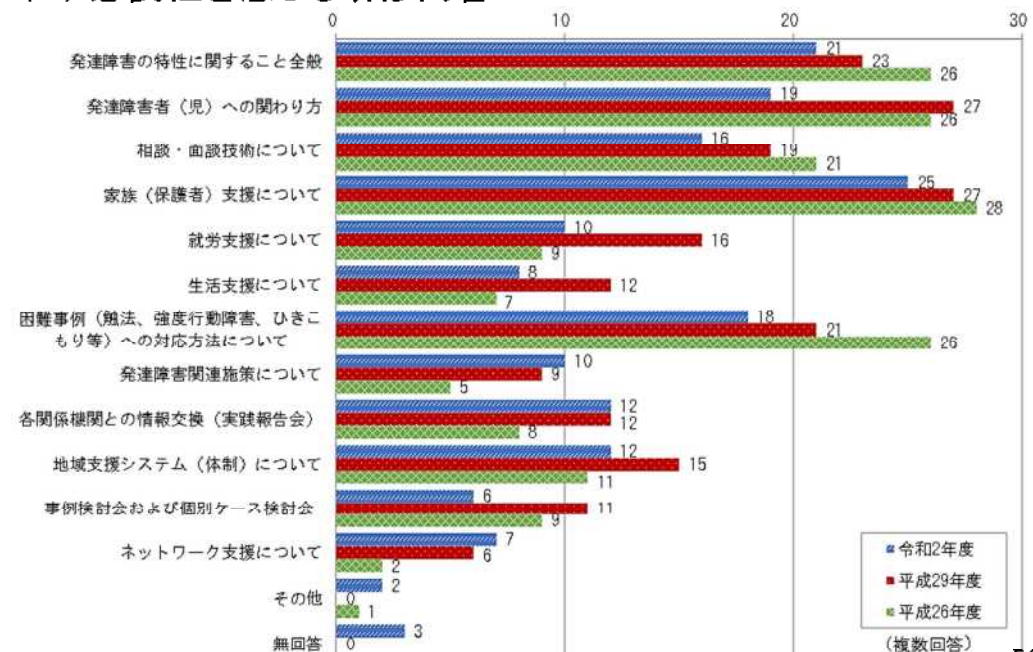


(5) 相談従事者に対する発達障害に特化した研修機会



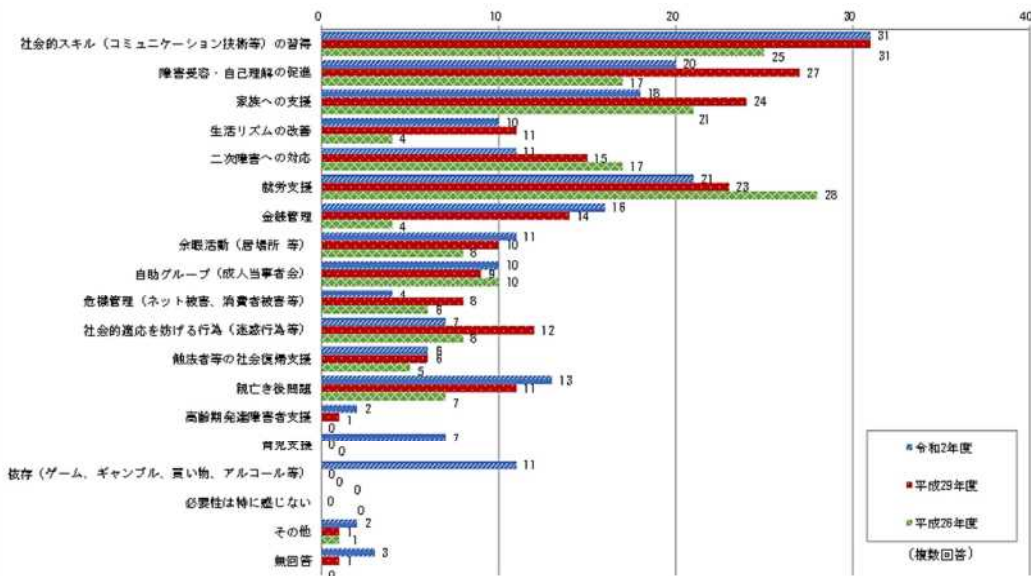
I. 発達障害に関する全般的な相談状況について

(6) 必要性を感じる研修内容



II. 成人期の発達障害支援について

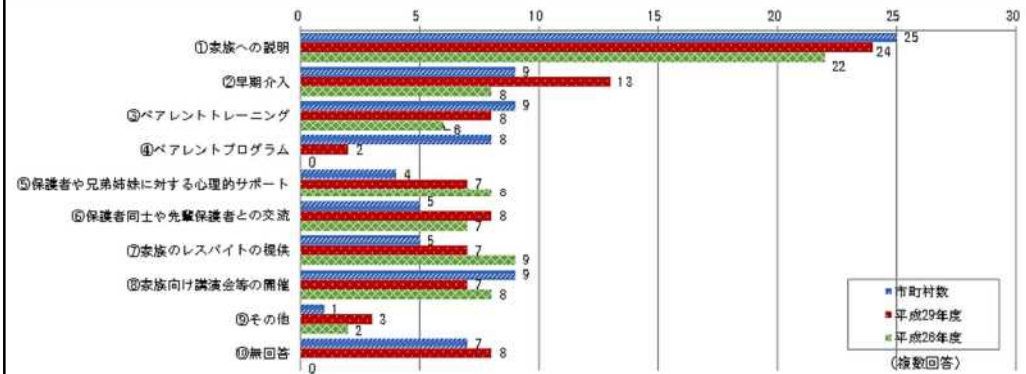
(1) 必要性を感じている支援



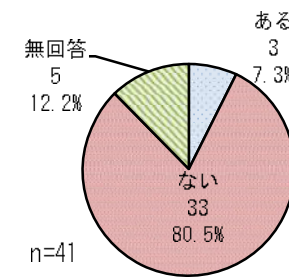
57

III. 家族支援について

(1) 必要性を感じている支援



(2) 当事者家族の困り感や支援ニーズに関する実態調査の有無

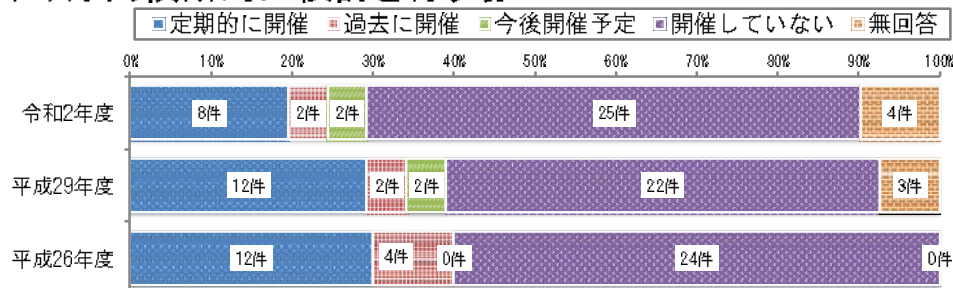


n=41

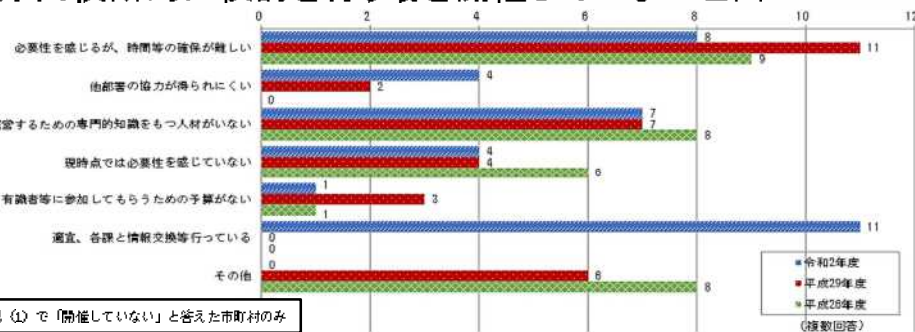
58

IV. 発達障害支援施策に関する検討状況について

(1) 庁内横断的に検討を行う場



(2) 庁内横断的に検討を行う場を開催していない理由



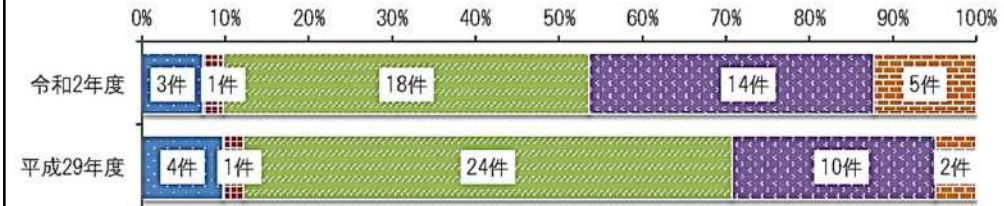
※上記(1)で「開催していない」と答えた市町村のみ

59

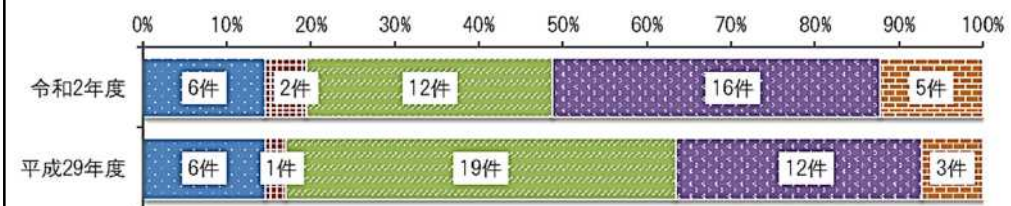
V. その他（※他分野と共通した設問）

(1) 市町村における取り組み状況（福祉分野）

① ソーシャルスキルトレーニング（SST）について



② ティーチャーズ・トレーニングについて

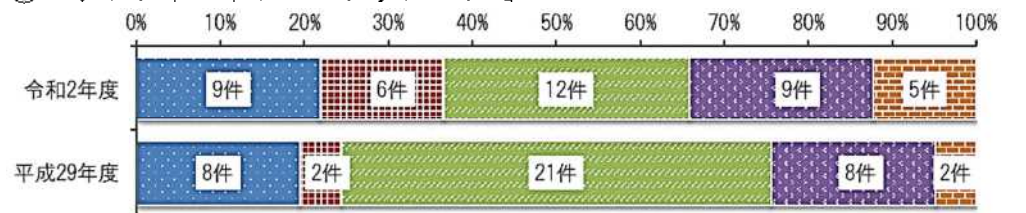


60

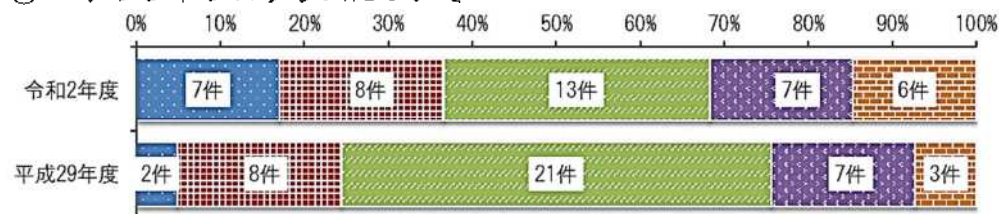
V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(1) 市町村における取り組み状況 (福祉分野)

③ ペアレント・トレーニングについて



④ペアレントプログラムについて

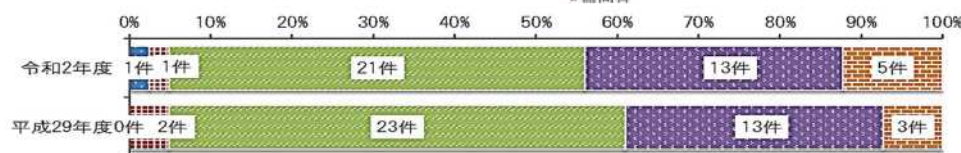


V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

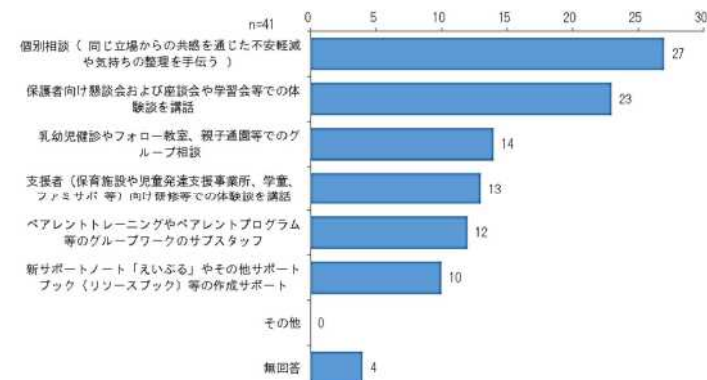
(1) 市町村における取り組み状況 (福祉分野)

⑤ ペアレントメンターについて

- 現在すでに実施している
- 必要性を感じている、具体的な取り組みを検討している
- 必要性を感じているが、運営面等に課題がある
- 必要性は特に感じていない
- 無回答



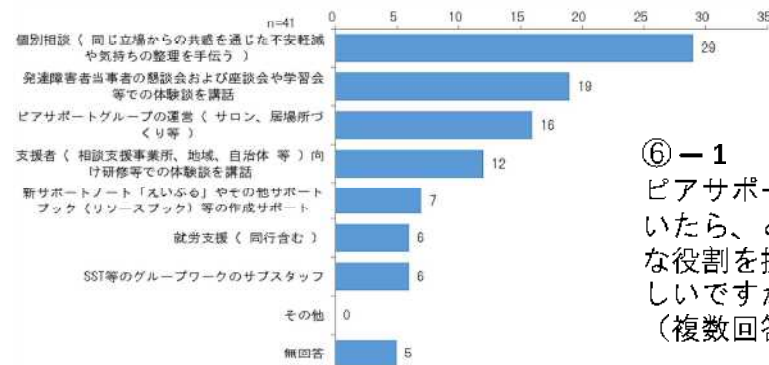
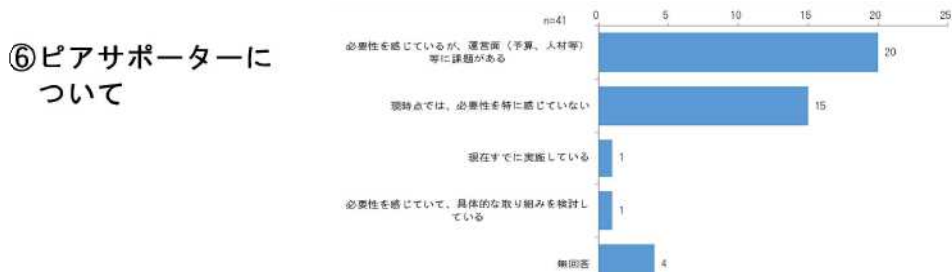
⑤-1 ペアレントメンターがいたら、どのような役割を担って欲しいですか？ (複数回答可)



V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(1) 市町村における取り組み状況 (福祉分野)

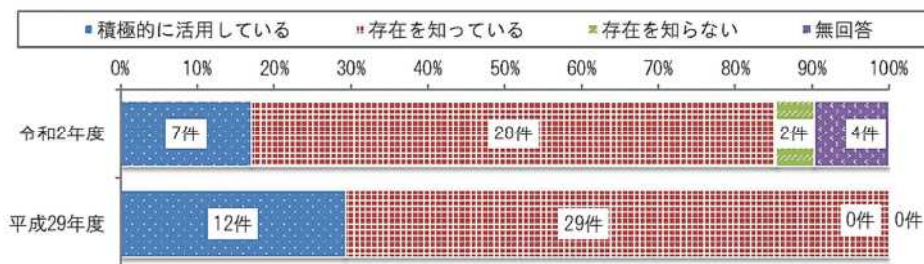
⑥ピアサポーターについて



⑥-1 ピアサポーターがいたら、どのような役割を担って欲しいですか？ (複数回答可)

V. その他 (※ 他分野と共通した設問)

(2) 「新サポートノートえいぶる」について (福祉分野)



(2)-1 普及に向けた取り組み

